

環境マネジメントシステム

2004年3月、富士通は国内最大級のISO14001統合認証を取得。
環境マネジメントシステムを活用したグループ・ガバナンスの確立をめざします。

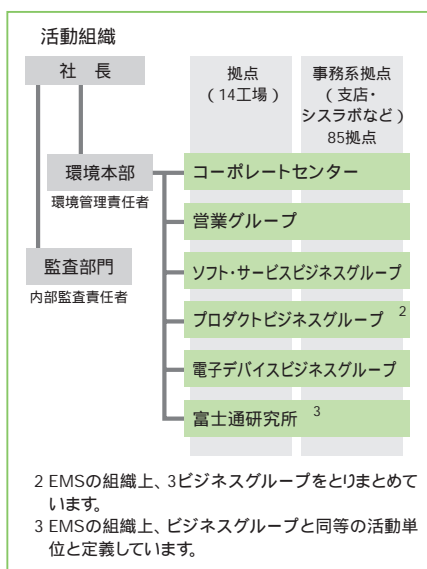
方針

富士通グループでは、国際規格ISO14001¹に基づく環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループが一体となった環境改善活動を推進しています。今後は、社会の持続的な発展に貢献するサステナブル経営や、グローバルな環境活動を強化していきます。

第4期環境行動計画の目標

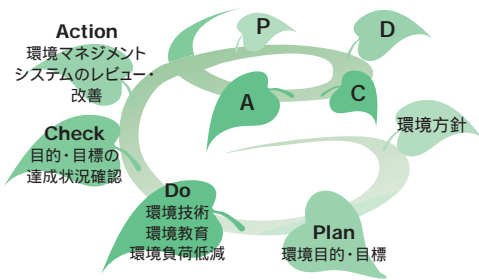
環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みを、2005年度末までにグループ全社で確立する

しくみ



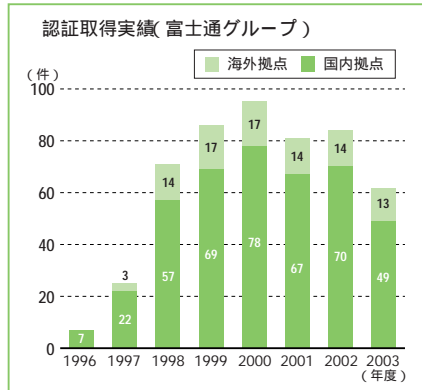
イト活動(省エネ、廃棄物削減、ペーパーレス、地域社会貢献など)を併用し、全事業領域で環境活動を実施する推進組織が整っています。また、監査部を全社内監査責任者とし、本来の事業活動と環境活動の両面を透明性のある観点で監査するしくみを導入。全サイト・事業所の環境監査情報収集のシステム化も推進しています。この活動をグループ全体へ拡大し、2004年度に国内グループ会社、2005年度には海外グループ会社の環境マネジメントシステム構築をはかります。

活動改善プロセス



2.環境改善プロセス

「富士通グループ環境方針」に基づき、すべての事業活動と一体化した継続的な環境負荷の改善をはかります。



2000年度までは、富士通グループ(関係会社)の子会社までを含めて集計していましたが、2001年度より集計範囲(持株率50%以上)を変更したため、また2003年度に富士通本体の工場を統合化したために、認証取得実績数に差異が生じています。

成果

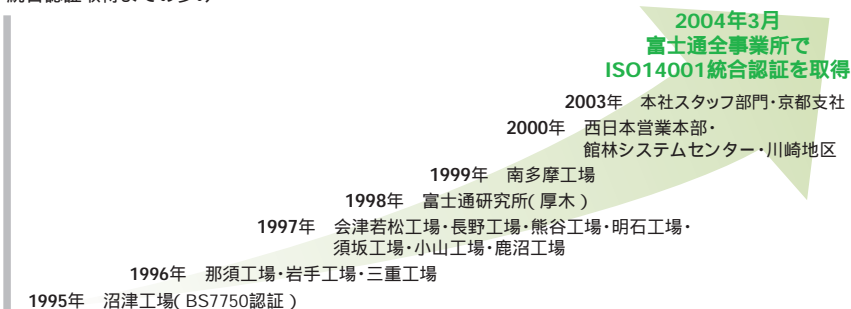
2003年度の目標

すでに認証を取得した事業所に加え、これまで認証活動の対象外だった営業/ソフト・サービス部門も含めた、全社統合認証の取得

統合認証の取得

富士通では、従来の工場に加え、2002年度に本社スタッフ部門でISO14001認証を取得。2003年度はその適用範囲を全事業領域に拡大いたしました。グリーン購入法に基づくグリーン調達や、経済/環境/社会の3つの視点に基づく活動の結果、2004年3月、国内最大級のISO14001統合認証を取得。今後はグループ全社としての環境マネジメントシステム構築をめざします。

統合認証取得までの歩み



1の用語説明については67ページをご覧ください。

総合認証取得活動の特徴

- 全活動単位における本業での環境目標の設定
- 全従業員に対するeラーニングの実施
- 監査部門による内部環境監査の実施
- 支社・システムラボラトリーにおける社会貢献活動を環境目標に設定
- 市条例までを対象にした環境法規制適用事項の作成を商品化



審査風景

総合認証の主任審査員からのコメント

ライン・サイトの新しいしくみを大きく評価。



株式会社 日本環境認証機構 (JACO)
認証本部環境認証部副部長
小川 隆雄

対象従業員4万8千人という大規模組織を1つの環境マネジメントシステムに統合する日本初の試みは、ライン・サイトという新しい考え方を導入したことにより成功を収めたといえます。

特に内部監査責任者を監査部長がご担当されたことにより、経営と環境の一体化というコンセプトの具現化が進展しています。90日間にわたる審査により、統合されたシステムはISO規格に適合して構築され、全拠点・全部門に定着しつつあることを確認しました。今後はライン・サイトのしくみを各部門で活用され、一人ひとりが担当業務の中で環境改善効果を発揮し、さらに大きな事業の発展につながることを期待しております。

経営層による見直し

「経営層による見直し」の結果、次年度の活動の重点項目として以下の取り組みを推進します。

- 一人ひとりの環境意識の向上
- 環境マネジメントシステム活動のパフォーマンスをビジネスへ活用
- 富士通グループ全体への環境活動の展開強化

グループ全体を対象とした主な活動内容

環境マネジメントシステムの改善規格管理システム「Orbit」の導入により、これまで手間や工数がかかり、個人管理による消失の危険性もあった環境マネジメント規格制定プロセスの効率化をはかりました。

環境講演会・説明会

環境マネジメントシステムのノウハウを共有し、従業員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、各工場、事業所において環境ISOに関する講演会・セミナーを開催しました(計241回)。

環境教育

従業員に環境意識の充実と向上をはかるため、「eラーニング」による教育を実施しました(受講者数約42,000人)。内容は、環境マネジメントシステムのしくみ、地球環境問題に関わるトピックス、一人ひとりの具体的な目的・目標などで構成されています。

「eラーニング」を利用した教育は、各人の都合のよい時間に、十分に理解できるまで教育を受けられるのが特徴です。

また、適切かつ厳格な内部監査員教育をはかるための監査員養成セミナーを行い、計524名の監査員を育成しました(登録内部環境監査員 累計2,445名)。内部監査員の資質向上をはかるため、フォローアップ教育も行いました。

内部環境監査

環境マネジメントシステムの実効性の確認と環境パフォーマンスの実績確認のため、ISO14001に基づく内部環境監査を行い、問題点・改善点を洗い出しました。指摘された1,610項目のうち、1,300項目を改善し、310項目については現在改善を進めています。

取引先への対応

資材・製品用部品・材料の取引先2,443社および用役・サービスの取引先958社に対し、富士通グループの環境活動へのご理解とご協力をお願いしました。

想定緊急事態の訓練

緊急事態の発生が予測される場所48ヶ所において、緊急事態を想定した訓練を計197回実施しました。(参加者:4,839名)



灯油が雨水溝に流れ込んだ場合を想定し、回収作業の訓練。
[富士通周辺機]



受入時に漏洩した塩酸をゴムシートとオイルマットにより流出を防ぐ[富士通アイソテック]